

1 つるす収納で生活道線をスムーズに。

ラックをつるすバッグ、ストール、帽子などの小物を収納。洋服を着た後に小物を見ながら選べるため、朝の忙しい時間もストレスフリー。

クローゼットを最大限に活用するための4つのポイント。

2 よく使うものは手の届きやすいところに。

ベルトやハンカチなど、よく使うものは手の届きやすい高さに。ラック内に引き出しを追加すれば、中に下着や靴下、アクセサリなども収納できる。

3 家族で収納するスペースを決める。

クローゼットを共有している場合はハンガーラックの真ん中につるすタイプのラックを設置し、左右で収納スペースを分けるというアイデアも。



4 収納ケースはラベリングしてジャンルごとに。

「1引き出し1ジャンル」と決め、ラベルに記入。洋服は畳んで入れ、アイテム別や色別に並べる。よく使うものは手の届きやすい上に。



適材適所の収納用品で朝の支度をスムーズに。

「収納用品はサイズや形にこだわって。色味を統一すれば見た目もすっきり」。プロフィックスルームケース、布製小物収納 衣類・小物整理ラックM&インナーボックス M (天馬 ☎0120-912-922)

Manners 1 STORAGE

片付け上手になるための収納術。



シンク下マルチ伸縮棚 UMD-2V

ネジを使わずに組み立てOK。左右に伸縮し、棚の移動も可能。調味料や調理器具の収納に最適。(アイリスオーヤマ ☎0120-211-299)



HOMECENTER'S RECOMMENDED ITEM

お玉&鍋ふたスタンドプレート

調理中にお玉や鍋ふた、菜箸などが置ける便利なスタンド。タブレットやまな板スタンドとしても。(山崎実業 ☎0743-57-5068)



マグネットラップホルダー

使用頻度の高い食品用ラップは、冷蔵庫に貼り付けたマグネット付きホルダーに立てると、省スペース&取り出しやすい。(山崎実業)



収納の極意は「モノの位置を全て把握し、すぐ取り出せること」。定位置を決め、手に取る道線を意識すれば毎日の片付けがラクに。「まずは整理から。棚一段、引き出し一段と範囲を決め、今使うものだけ厳選。迷ったら「保留ボックス」に入れ、一定期間使わなければ処分しましょう」(吉川さん)。収納用品は配置スペースとアイテムの大きさに合うものを選び、細かなモノは仕切りを使用。ルール化で部屋の散らかりと決別しよう。

見通しの良い収納で効率良く暮らす。

ADVISER



吉川永里子さん

収納スタイリスト。女性目線の整理収納術が好評。著書に『なかなか捨てられない人のための鬼速片づけ』(アスコム) など。